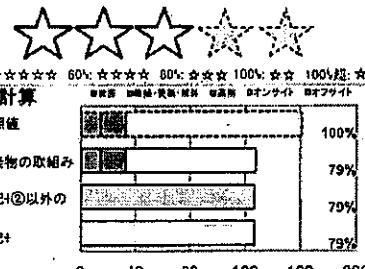
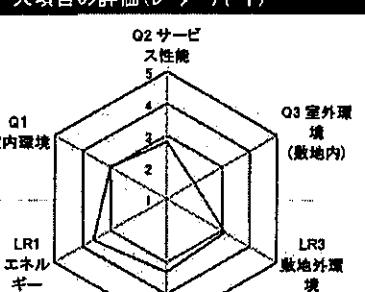
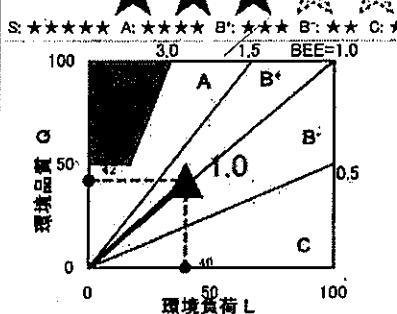
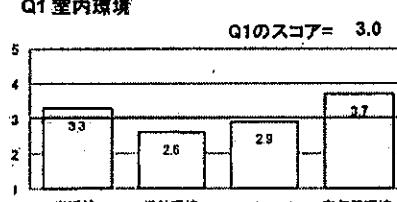
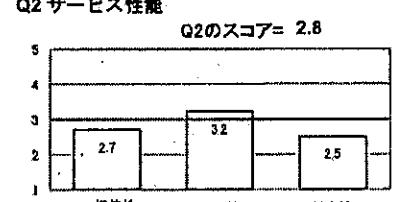
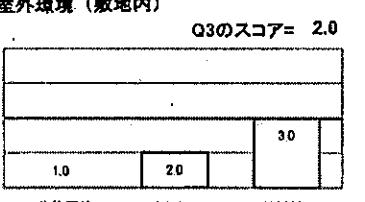
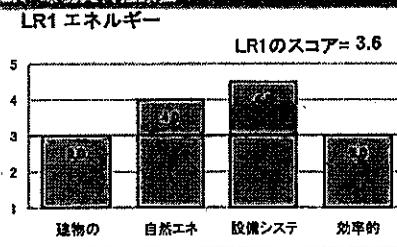
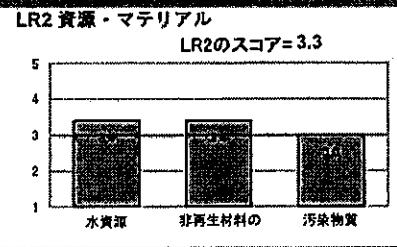
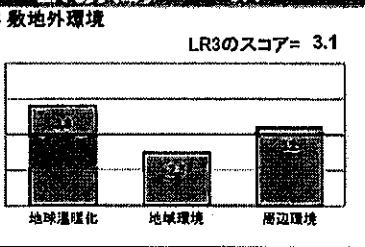


CASBEE® 新築[簡易版]

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福知山サンホテル新館増築	階数	地上7F
建設地	京都府福知山市字堀小字下路	構造	RC造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	92人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2013年10月3日
敷地面積	2,506 m ²	作成者	吉永 拓郎
建築面積	461 m ²	確認日	2013年10月5日
延床面積	2,020 m ²	確認者	伊東 正太朗

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.0 ★★★★		30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100% ★			
 <p>BEE = 1.0</p> <p>G: 環境負荷 L: 環境負荷</p>		<p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので(kg-CO₂/年・m²)</p>			
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Qのスコア = 2.6		Q3のスコア = 2.0	
<p>Q: 環境品質</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p> 		<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 2.8</p> 		<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.0</p> 	
<p>LR: 环境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.6</p> 		<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p> 		<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.1</p> 	
<p>3 設計上の配慮事項</p> <p>各</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根については外断熱を実施し、冷房負荷を抑えている。 ガラスは全て複層ガラスを設置し、断熱効果を上げている。また西側に面する窓には熱線反射ガラスを採用。 パリアフリーについては、建築物移動等円滑化基準を満足。 <p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法規制対象外となる建築材料(F☆☆☆☆)を採用し、良好な室内環境を図った。 開口部では、T-2以上の遮音性能の建具を採用した。 給気、排気口の位置において、空気質の向上に配慮。 <p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> ガラスは全て複層ガラスとし、屋根については外断熱を採用し、より断熱性能を高めた。 照明器具でLED照明を採用。 太陽光パネルの設置。 <p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生器具でグリーン購入法適合品を採用。 自動水栓や節水型機器を採用し、水資源の保護に努めた。 <p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に緑地スペースや中庭を設けた。また中庭の樹木では福知山市のシンボル樹のキキョウを計画した。 光害対策ガイドラインの項目の過半を満足。 					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される